

DK・できることでの5領域の指導プログラム例

以下は、5領域に分けて当法人で実施している具体例を示しています。なお、5領域はそれぞれが独立しているものではなく、相互に関連して重なりあっております。また、5領域を網羅した支援をする際には、「自立支援と日常生活の充実のための活動」・「体験的な活動や遊び」・「地域交流の機会の提供」・「こどもが主体的参画できる機会の提供」の4つの基本活動を複数組み合わせることで支援を行います。

① 健康・生活

- ・定期的な心身の把握（毎回体温測定）
- ・生活リズムの安定（原則定期的かつ定時に通所）
- ・構造化されたスケジュール（絵・実物・文字で示したスケジュール表示）
- ・小集団活動などによる社会的訓練

② 運動・感覚

- ・トランポリンなどを用いたリラクゼーション
- ・バランスボールでの姿勢保持・バランス感覚の向上
- ・音楽に合わせて体を動かす遊びや運動
- ・粘土遊び・描画や塗り絵など、お子さんの好きな感覚遊び

③ 認知・行動

- ・日付やタイムスケジュールの把握と確認による時間の認知形成
- ・数遊びを用いた数の認知形成
- ・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成
- ・ブロック遊び・パズル等による空間把握の認知形成
- ・絵のマッチングを用いた視覚的概念の形成

④ 言語・コミュニケーション

- ・マカトン法（サイン・音声・シンボル）を用いた概念形成
- ・S-S法を用いたアセスメントおよび語彙・構文・コミュニケーション指導
- ・構音（発音）検査とそれに基づく指導
- ・各種発達検査・知能検査を用いたアセスメントに基づく指導
- ・各種言語検査・読み書きのアセスメントに基づく読み書き指導
- ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化

⑤ 人間関係・社会性

- ・ごっこ遊びの中でやり取り能力を高める
- ・小集団活動の中で順番やルールの理解を指導

→これらを個別支援計画に入れる→6カ月に一度見直し→新たなプラン作成